



MAGAZINE

記事を探す



TOP > 名優マガジン > 導入事例 >

中央材料室の洗浄室で、長時間の立ち作業による腰痛負担を軽減したサージカルマットの導入事例

導入事例

中央材料室の洗浄室で、長時間の立ち作業による腰痛負担を軽減したサージカルマットの導入事例

2026.06.21 #サージカルマット #中央材料室



1200床規模の大学病院中央材料室では、洗浄室での長時間の立ち作業によるスタッフの疲労が課題でした。体圧分散と撥水性を重視し、サージカルマットを採用した事例です。



導入先	1200床規模 大学病院 中央材料室のスタッフ
使用場面	洗浄室での立ち作業
目的	立ち作業時のスタッフの疲労軽減

1. 事例のご紹介
2. 許容したこと・注意点
3. 使用製品

事例のご紹介

1200床規模の大学病院中央材料室では、洗浄室での立ち作業が長時間続くことがあり、スタッフの足腰への負担が課題になっていました。洗浄室で使用するため、体圧を分散できるだけでなく、撥水性があることも必要でした。

選定にあたっては、長時間乗っていても疲れにくいこと、体圧が分散されるやわらかい素材であること、洗浄室で使いやすい撥水性があることを重視しました。マットのサイズが小さいことは許容し、立ち位置での足腰負担を軽減することを優先しました。

サージカルマットは、洗浄室での立ち作業時にスタッフの足腰への負担を抑えやすい点が評価されました。導入後は、腰痛を訴えるスタッフが減った

という変化につながっています。



許容したこと・注意点

- マットのサイズが小さいこと
- 広い作業範囲を覆うことより、立ち作業時の足腰負担軽減を優先した

使用製品

製品名：サージカルマット

採用品番：USA010 (サージカルマット)

この事例での役割：中央材料室の洗浄室で、長時間の立ち作業による足腰の負担軽減を支援

製品ページ：<https://meilleur.co.jp/product/anti-fatigue-mats/>

よくある質問

Q なぜ洗浄室でサージカルマットを採用したのですか？

A. 長時間の立ち作業によるスタッフの疲労を軽減し、撥水性のあるマットを求めていたためです。

Q マットのサイズが小さい点は問題になりませんでしたか？

A. 広範囲を覆うより、実際に立つ位置での足腰負担軽減を優先したため、許容されました。



[＜ 前の記事](#)

[次の記事 ＞](#)

[一覧に戻る](#)



[製品カタログ一覧](#)



[お問い合わせ](#)